

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

No.572

竹の子会総務委員会

平成27年 9月10日

例会（水門川万灯流し）

日時：平成27年 8月 1日(土) 場所：水門川一帯



大垣つどい
副会長
宇野 隆富

去る 8月 1日(土)に、第31回水門川万灯流しが、水門川一帯にて開催されました。当日は最高気温38度という非常に暑い中、行事を無事に進行できたのは、沼波事務局長を中心に実行委員会がまとまった結果であると思います。

今回、私は事業のテーマを「不易流行」としました。この言葉は松尾芭蕉が紀行文〈奥の細道〉

で体得した概念であると言われています。「不易を知らざれば基立ちがたく流行を知らざれば風新たならず」不変の真理を知らなければ基礎が確立せず、変化を知らなければ新たな進展がない「不易」とは変わらないこと、どんなに世の中が変化し状況が変わっても絶対に変わらないもの、変えてはいけないうものということで、「不易の真理」を意味します。逆に、「流行」は変わるもの、社会や状況の変化に従って変わっていくもの、あるいは変えていかなければならないもののことです。「不易流行」は俳諧に対して説かれた概念ですが多くの物事に対して共通する考え方だと認識しています。

ここ数年、数を集める事に重きを置いた為、流しだす万灯が紙の簡易的なものを使用し形骸化していると感じていました。今期は、従来の万灯流しの形に戻すことを方針に定め、自ら作った作品(万灯)を自らで流すことで、物を作る楽しさや水門川の歴史や環境を知ってもらう機会を作り出そうと実行委員会が話し合いを重ね、私の想いを形にしてくれました。

迎えた7月18日(土)の万灯制作教室当日は、開始から終了までテーブルが子ども達と家族で埋まりました。結果、用意した270個の制作キットでは不足、予備の30個を

使用し合計300個の万灯を作ることが出来ました。万灯流し当日への手ごたえを感じた一日となりました。そして当日制作分を含め総数330基の万灯を制作し、そのうちの約8割の子ども達が貴船広場に自ら流しに集まってくれました。それがこの事業の全てを物語っています。私は事業を通じ、一人一人の力は微力でも、各人がはっきりとした目的に向かって行動を開始する組織は、多くの人の心や気持ちを動かすことが出来るという貴重な経験をさせて頂きました。実行委員会の皆様もこの事業を通じ何かを得て頂いていることを期待します。

このような素晴らしい事業ができたのも母体である大垣竹の子会の協力なしに成しえませんが、制作教室、前日、当日と多くの会員の皆様のお力添え大変感謝申し上げます。他団体にはない結束力の強さを事業で見せてもらいました。有難うございました。今期当会は60期という節目を迎えております。当会が掲げる3つの基本方針と先輩方が積み重ねられた歴史を礎にどのような変化をすることが出来るかは会員それぞれが問われることだと思います。永井会長を中心に一つ一つの事業を大切に積み重ねてまいりましょう。



新入会員の自己紹介



親睦委員会
今西 勇人

この度、大垣竹の子会に入会させて頂く事となりました今西勇人と申します。第60期という節目の期に入会させて頂きとても光栄に感じております。伝統ある大垣竹の子会の活動を通して地域の発展と活性化に少しでも貢献出来れば幸いです。その活動の中で、幾つもの素晴らしい経験や体験、そして多くの良き仲間達、先輩方に出会う事が出来

ると思うと期待で胸が膨らみます。もちろん楽しい事ばかりではないでしょう。これからたくさんの試練、大きな壁が立ちはだかる事もあると思いますが、そんな時は自分を大いに成長出来るチャンスだと思って精進していきたいと思います。

自分一人ではできることは限られています。地域の皆様、青年団体の皆様、そして竹の子会の皆様と共に、竹の子会の名に恥じぬよう、精一杯努力していきたいと思っておりますので、どうかご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



渉外委員会
牛屋 知之

会員の皆様はじめまして。60期新規会員の牛屋知之です。60期という記念期に入会させて頂き大変嬉しく思います。

まずは竹の子会3つの基本目標と第60期スローガンをしっかり理解し、時間の許す限り多くの事業に積極的に参加していきたいと考えております。参加する事で竹の子の活動内容を理解し、同期をはじめ先輩

会員との交流も図っていきたくと考えています。まずは、参加し楽しむ事から始めていきます。その中から様々な経験や、普段の生活の中で得られない物をひとつひとつ自分の中で積み上げていき、1日も早く大垣竹の子会の一員となれるよう精進していきます。

新規会員という右も左もわからない若輩者ですが、皆様のご指導ご鞭撻を賜り、これから精一杯取り組みさせていただきますので宜しくお願い致します。



交流委員会
小島 裕則

この度、60期新入会員になりました小島裕則です。今回、竹の子会に入会させていただけた事に誠に感謝しています。なぜ入会を決意したのかと申しますと、紹介者からの熱い思いもありますが、自分自身も誰かの役に立ちたかったからです。実は私は若いときは悪いことばかりして多くの方々にご迷惑をおかけしました。その当時の私は「自分さえ良ければ」などと都合の良い理由ばかりつけ逃げていました。しかし社会人になるにつれ、自分の考えは全く社会に通用しないということがわかり、次第に社会の影に身を潜めるようになりました。そんな中、私自身を大きく変えた出来事は、母

の病気、そして大切な友達の人生放棄です。その時初めて、他人に目を向けたのだと思います。「その人のために何が出来るだろう」「あの時どんな言葉をかけてあげれば良かったのだろう」私自身、何をどうやっていいのかわかりませんでした。しかし、無駄な努力なんてひとつもない、自分自身が苦しんだことが絶対誰かのためになる、いかなる困難をも受け入れ、屈強に挑む姿で背中を見せるしかない、皆様からどう思われるかよりも、その人の為に何が出来るか、そして皆様に元気になって頂きたい、人生を楽しむ為の希望を持って頂きたい、この先の夜道（老後）を照らす光になりたい。私自身、まだまだ未熟者ではございますが、頑張りますので、皆様のご指導、お力添えを宜しくお願い致します。



新入会員の自己紹介



親睦委員会
近藤 優介

皆さん、はじめまして。第60期新入会員の近藤優介と申します。親睦委員会でお世話になってます。入会から2か月が経ち、総会懇親会や水門川万灯流しといった事業に参加させていただきました。これまでの自分が経験したことのないことばかりでしたので、大変新鮮で、また、楽しく参加することができ、改めて入会させていただいてよかったと感じているところです。



奉仕教養委員会
齋藤 浩太郎

竹の子会の皆様、初めまして。第60期に入会させていただきました齋藤浩太郎と申します。まず、私の自己紹介からさせていただきますと、今年で31歳、妻と子が一人おります。30歳を越えて何となく、衰えを感じる気もしますが、諸先輩方の生き生きと活動する姿を見ておりますと、たぶん気のせいなのだろうなと思っています。趣味は、自慢するようなものではなく、読書くらいかなと思いますので、何かおすすめの趣味に



渉外委員会
鈴木 基晋

大垣竹の子会の皆さん、はじめまして。今期入会させていただきました鈴木基晋です。私は大垣市の万石でやきにく華を営んでおります。今回ご縁がありまして、この伝統ある会に入会させていただきましたことになりました。お店の都合もあり、なかなか会の活動に参加できないことも



奉仕教養委員会
野原 利秀

会員の皆様こんにちは。第60期奉仕教養委員会で新入会員の野原利秀です。会社は有限会社トリアージといます。保険代理店で損害保険、生命保険を取り扱っております。個人的な趣味としましては、野球やフットサル等、体を動かす事が好きです。フットサルは毎週やっていますので興味がある方は気軽に声をかけてください。竹の子会に入ってから意気込みとしましては、ま

現在は、9月度例会の会員親睦会に向け、副会長・委員長・副委員長のお手をわずらわせながらも、鋭意準備を進めているところです。新入会員とはいえ、委員会のメンバーの一人として、微力ながら事業の成功に向けて努力します。

今後は、少しでも早く皆さんに顔を覚えてもらうことを目標にしています。固い絆で結ばれた大垣竹の子会の一員として、前のめりの姿勢で精進してまいりますので、至らぬ点多々あるとは存じますが、ご指導いただけましたら幸いです。よろしくお願いいたします！

できることがありましたら紹介してください。

竹の子会への意気込みとしましては、記念すべき第60期入会ということで、何か大きいことをやらなくてはならないのだろうかというプレッシャーを激しく感じておりますが、諸先輩方の皆様、そして同期の皆様にも恵まれておりますので、やりきった事業が実は大きいことを成し遂げていたんだ・・・といえるように頑張っていきたいと思ひます。

職場の異動もあり、竹の子会も1年生、仕事でも1年生ということで、皆様には多々ご迷惑をかけることもあるとは思ひますが、どうぞよろしくお願いいたします。

あるかとは思ひますが、今期は渉外委員会に所属していますし、この会の方だけでなく、いろんな団体の方と知り合う機会も多いかと思ひます。いろんな活動を通して、様々な業種の方と出会い、親睦を深め、自分自身も大きく成長できるように励んでいきたいと思ひます。自分なりに精一杯頑張っていきたいと思ひますので、皆さん、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

だ入会したばかりで竹の子会がどういった団体なのかあまりわかっていません。まず、竹の子会の行事にできるだけ参加する事で竹の子会の事を知りたいと思ひます。その中で奉仕教養委員会の最初の行事の「第47回交通遺児夏のつどい」でバスのレクリエーションを大蔵委員長から同じく新入会員の齋藤さんとやらせて頂ける事になりましたので、子供達に楽しんで頂けるように一生懸命頑張りたいと思ひます。

まだまだ未熟者ではありますが真面目な所だけを取り柄なので、これから会の活動を頑張っていきたいと思ひますので宜しくお願いします。

市 長 杯

日時：平成27年7月10日(金) 場所：コロナキャットボウル 大垣店



渉外委員会
副委員長
名和 良能

皆様こんにちは。今期渉外委員会、副委員長の名和良能です。

大垣市青年のつどい協議会主催の市長杯ボウリング大会が、7月10日（金）に、コロナキャットボウルにて行われました。

当日は、大垣市長様の始球式で始まり、ガーターなしのレーンでしたが、約10年ぶりにボウリングをした私は、とても新鮮さを感じました。2

ゲーム目の最後に、4連続ストライクを出した時は、とても興奮し子供のように喜んでいたので思い出します。ボウリングの結果だけではなく、新しい仲間と過ごす時間は、大きな収穫でした。

今期は、つどいの理事として、初めて市長杯に参加しましたが、ボウリングを通して他団体の方と

の親睦を深め、交流をもつことができる貴重な機会を得ることができました。また、他団体との団結力も実感できました。

市長杯の盛り上がりは、2次会でもみられ、他団体の皆様と、お酒を酌み交わし、楽しい時間を過ごすことができました。参加して頂いた会員の皆様本当にありがとうございました。

また、つどいの行事に参加されていない会員の方は、他団体との情報交換の場にもなり、今後の事業にも役立つこともありますので、是非振るってご参加ください。

最後になりますが、つどいの3大事業がまだ残っておりますので、会員の皆様ご協力の程よろしくお願いいたします。



10月の予定

例会（十万石ふるさとまつり）

日 時 平成27年10月11日（日）
場 所 大垣駅通り一体

交通遺児チャリティーゴルフ大会

日 時 平成27年10月1日（木）
場 所 大垣カントリークラブ